

平成 29 年度第 11 回石狩市厚田区地域協議会 会議録

【日 時】 平成 30 年 2 月 22 日（木） 18：30～20：00

【場 所】 望来コミュニティセンターみなくる

【出席者】 11 人（15 人中）

役 職	氏 名	出欠	役 職	氏 名	出欠	役 職	氏 名	出欠
会長	築 田 敏 彦	○	委員	加 藤 亞 弓		委員	平 賀 敏 和	
副会長	渡 邊 教 円	○	委員	河 合 徳 秋	○	委員	三 浦 崇 史	○
委員	東 幸 子	○	委員	河 合 保 郎	○	委員	本 吉 俊 一	○
委員	大 内 さつき	○	委員	小 山 玲 子	○	委員	森 田 瞳	○
委員	小笠原 英 史	○	委員	今 光 江		委員	吉 村 貴 文	

※正副会長を除き、あいうえお順

支 所 ～ 西田支所長・田村課長・相原主幹・小池主任社会福祉士
今野・野呂（地域おこし協力隊員）

事務局 ～ 高田地域振興課長・今田主査・佐藤主査・川村主査
(地域振興課)

【傍聴者】 1 名

- 【次 第】
1. 開会
 2. 会長あいさつ
 3. 情報交流（リラックス タイム）
 4. 報告事項
 - ・望来小学校について
 5. その他
 - ・生活支援体制整備事業②についてー 話し合いの場（協議体）について ー
 - ・『厚田区地域おこし協力隊報告会』の案内
 6. 座談会
 - ・テーマ『若者と地域づくり』

1. 開会

【（厚）地域振興課 高田課長】

開会の前に、加藤委員、今委員、平賀委員、吉村委員から欠席の連絡があったので報告する。

2. 会長挨拶

【築田会長】

全国的に積雪の多い天候が続いている。除雪等忙しい中、お集まり頂き感謝申し上げます。

3. 情報交流（リラックス タイム）

- ・ウィンターレクフェスタについて（河合徳委員、大内委員）

4. 報告事項

望来小学校について

【（厚）生涯学習課 田村課長】

先月の地域協議会で報告したとおり、望来小学校は2名の転校により4名となった。1月30日に望来小学校PTAと望来地区自治連合会から、平成32年より1年早く厚田小学校と統合する旨の請願書が提出された。その請願書どおり2月13日開催の教育委員会議で決定され、来月3月の議会で正式決定となる予定。それに伴い、教頭先生が不在となる。教員の加配については未定。

5. その他

生活支援体制整備事業②について

【（厚）地域振興課 小池主任社会福祉士】

前回に引き続き、生活支援体制整備事業の話し合いの場・協議体について説明する。少子高齢化は深刻で、今から備えをしないと自宅で暮らし続けることが難しい状況になる。それを防ぐために、国は少しでも住み慣れた地域で元気に暮らせるよう、介護予防の観点から地域での支え合いに重点を置いている。

協議体のメンバーのイメージは、その構成員に限らず課題に応じて様々な方に参加して頂くことも想定される。例えば、見守り体制などに関して協議することになった場合は、駐在所のお巡りさんに入って頂くこともある。ボランティアさんのお力が必要であればボランティア団体の方と一緒に協議するほか、その他に社会福祉協議会や高齢者クラブ、お店など様々な方に柔軟に加わって頂くことでより具体的な話し合いを進めることができる。ちなみに、江差では高校生も協議体に入って学生目線を取り入れながら支え合いの地域づくりを一緒に行っている。もう既に近所や地域ごとに様々な支え合いがあるから大丈夫と思っけていても、果たして5年後・10年後もそのような支え合いは継続されるのか？それらを少しでも長く太く継続しながら介護予防で元気に暮らすためにも、今後更に協議体の取り組みが重要になってくる。

では、協議体の話し合いの例を紹介する。協議体のメンバー自身が身近で気がかりな方の情報を持っている場合、協議体のメンバーがNP0のライフサポートの会であれば「最近、〇〇さんの除雪サポートをする回数が増えてきたけどどこか体調とか崩してないだろうか？」、町内会では「〇〇さんが腰痛で買い物に行けないって言ってたわ」という情報が出る。厚田クリニックの田口先生が参加していれば「最近、診察に来ていない1人暮らしの方がいるけど元気なのかな？」という課題の情報共有ができる。また、生活支援コーディネーターから高齢者クラブ等の交流の場で地域の課題を抽出して議題に挙げることも考えられる。このように些細なことでも地域の困りごとを拾って協議していく流れとなる。

厚田婦人会では、「会員の高齢化」と「新規加入者が少なくなっている」という課題があり、農協の加工グループの女性部も同様に会員の高齢化と新たに入ってくる会員が殆どいなくて困っている。また、望来高齢者クラブ「名木会」でも、同じ課題に加えて、地域の中で人との繋がりが薄くて孤立気味の方がいて心配だが、どう支えてよいか困っていると聞いた。孤立気味の当事者側からすると自分のことをあまり話して欲しくないという想いや個人情報の部分もあるが、今後は気にかけてどのように見守るか検討していくべきと会長が言われた。このように、通いの場があっても通いの場自体の課題や、地域には孤立している方もいる。孤立気味の方への見守りや支え手をどうするか等について個々で考えることも必要だが、会長一人で悩みを抱えずに地域と一緒に高齢者の福祉面について検討していく体制・話し合いの場が必要になってくる。

事業の展開としては、繋がりが薄い場合既存の組織や活動を活かしながら、通いの場に参加するための情報提供を行ったり、孤立気味の方には見守り体制を整えたり、買い物が大変であれば買い物代行など生活支援サポートを調整することで助け合いの体制作りを進めていく。また、お手伝いする支え手側も体を動かすことや社会的な役割を持つこととなり、結果として介護予防に繋がっていく。協議体の委員もサービスの出し手・支え手側になるということも考えられる。また、見守り等のサポートの受け手でも調理が得意な方の場合は、その方が多めに作った食事を別に困っている方へお裾分けする方法もある。今後も超高齢社会が進むが、老老介護や社会的な孤立という背景があれば、このような生活上の課題や悩みが出てきても、家族や自分1人で対処できないことも考えられる。そのための対策等を検討する機関が協議体となる。協議体と生活支援コーディネーターが連携して高齢者福祉の課題を抽出しながら、地域課題について様々な視点から対策方法等を検討していく。

ここで、元気で長生きしている人に共通する生活習慣の決め手を紹介する。「きょういく」と「きょうよう」。「きょういく」とは、「今日、行くところがある」。「きょうよう」とは「今日、用がある」ということ。通いの場へ外出し、ご近所やお友達付き合いも元気に長生き、介護予防に繋がっていく。

最後に、協議体の役割について、協議体は生活支援コーディネーターと連携しながら介護予防を目的として支え合いの繋がりを継続できるように様々な構成員で話し合いながら助け合い・支え合いで元気で長く暮らせる地域づくりを目指していく。こうした地域づくりは時間も必要で、即効性が求められている訳では

ないので、できる範囲で定期的に継続していくことが重要となる。生活支援コーディネーターも助け合いの地域づくりに取り組んでいくので、地域協議会の皆様からご意見を宜しく願います。

厚田区地域おこし協力隊報告会について

【（厚）地域振興課 地域おこし協力隊 今野隊員】

3月11日（日）に厚田保健センターにて今年度の協力隊の活動報告会を行う。内容は5月からの活動の振り返りと毎月発行している協力隊通信の展示を予定。また、今野はミニコンサートを企画している。野呂は2月末で退任し、道の駅のテナント店長となるため、ピザの実演と試食会を行う。申込不要なので、各委員からも広く周知願う。

道の駅の近況報告について

【（厚）地域振興課 佐藤主査】

道の駅の建築工事はほぼ終了し、3月9日引渡しの予定。以後、備品の搬入やテナント等との最終調整を経て、3月21日にあい風の事務所も建物内へ引っ越す。また、内覧会を3月27日、28日に実施する。27日午前中は区内団体の皆様を対象となり、11時支所集合でバスでの移動となる。28日午後については区内小中学生を対象とし、春休み中に見学できるようスクールバスを手配する予定。さらにプレオープンは4月19日、20日、22日、24日の4日間をモニターツアーとして開催する。厚田・浜益区民対象のモニターツアーは20日とし、各30名程度を募集する。詳細は3月中旬の回覧で全戸周知する。加えて、道の駅スタンプについては、厚田小学校と聚富小学校の文化部に協力いただき、2種類のデザインで季節ごとに使用する予定。

厚田区住民アンケートの近況報告について

【（厚）地域振興課 今田主査】

アンケート実施についてはご協力いただき感謝申し上げます。現在、1500枚配布したうち960枚が回収済みで64%の回収率となっている。

3月中旬に集計を行い、4月には結果を公表したい。

○次回の日程について

平成30年3月22日（木）18時30分～ 厚田保健センター

平成30年 3月22日 議事録確定

石狩市厚田区地域協議会

会長 築田 敏彦